

質 疑 回 答 書

件名：解剖室設置空調システム設置工事

(注意事項)

1. この質疑回答書は、仕様書の追補とみなす。
2. 質疑回答書は優先順位第1位となるため、質疑の有無にかかわらず、必ず受けとること。

更新日：2022年11月18日

番号	区分	質 疑	回 答
1	仕様書	念のためご確認したいのですが、ドラフトチャンバーと飼育ラックの機器はお施主様支給という認識で問題無いでしょうか。	飼育ラックは当機構保有のラックを準備します。 ドラフトチャンバーは工事に含むものとして準備をお願いします。
2	系統図	ドラフトチャンバーの排気は有機溶剤が含まれており、屋上(R階)での排気であれば労働基準監督署より指導される可能性が高いと思われます。R階での排気という認識で宜しいでしょうか。	1Fのすぐ横で排気を考えており、ドラフトチャンバー備品の方でスクラパー等の除外設備の設置をお願いします。総量から問題なしと考えていますが、工事は労働基準監督署の指導に従います。 労働基準監督署の指示により工事の変更が生じれば、変更契約等別途協議をお願いします。
3	仕様書	ドラフトチャンバーの仕様、参考型番などございましたらご教示ください。	仕様については別紙1、別紙2の図面を参照ください(寸法・材質・風量等、必要事項の記載済み)。 参考型番としてプッシュプル型ドラフトチャンバー 型式:RCR-SBT-1200ES ()オリエンタル技研工業(株)製 相当品
4	仕様書	制御盤、分電盤の位置が不明ですのでご教示ください。	分電盤、空調制御盤は別紙3の図面をご参照ください。
5	仕様書	配置図と機器表で記載内容に相違があると思います。下記どちらを正とすれば宜しいでしょうか。解剖室マルチエアコンは室内機2台設置と記載有りますが、系統図には1台しか記載ございません。また、系統図では前室と解剖室の室内機の系統が繋がっておりますが、機器表を見ますと別系統かと思えます。ご指示願います。	機器表が正しいです。 ダクト・配管系統図(フロー図)【別紙4】及び仕様書【別紙5】を訂正致しました。 マルチエアコン室内機は解剖室2台、前室1台の計3台です。フロー図側に解剖室2台が判るように訂正致しました。
6	仕様書	図面には600CMHとありますが、ダルトン製ドラフトチャンバーでW1200寸法の製品の排気風量は900CMHとなります。 ※メーカー標準開口高さH400・制御風速0.5m/s(特化則)の場合、排気風量は600CMH分しか余力がないのでしょうか。	新設300φダクトに、設計値:1,284CMHの排気量を想定しています。風切り音(通風音)等の発生が極力無い様に600CMHで十分な性能を満たすドラフトチャンバーを想定しています。発注後別途、公示している「神戸医療産業都市推進機構 解剖室設置衛生・電気設備等工事」における衛生設備工事との調整を行っていただければと思います。

質 疑 回 答 書

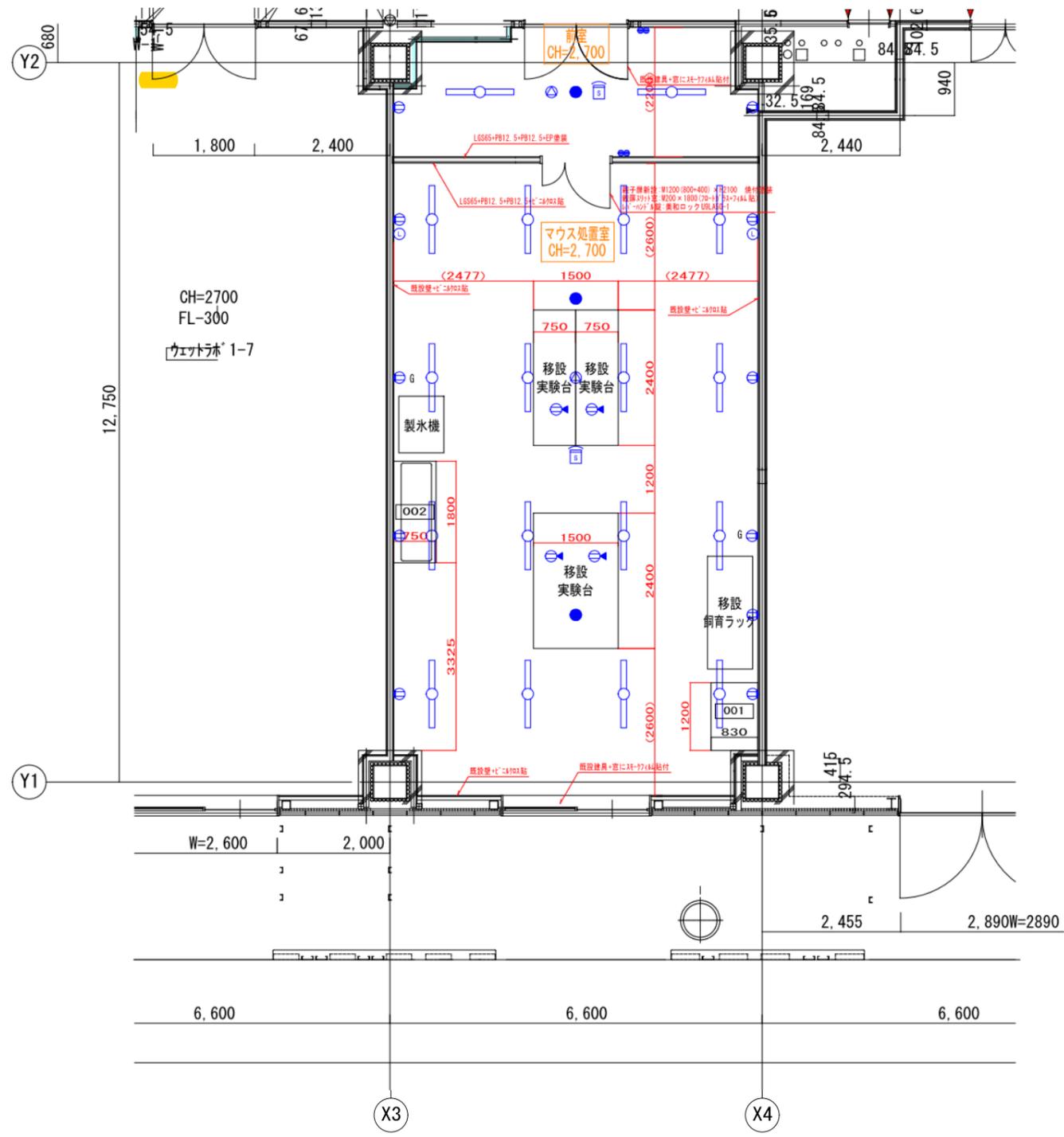
件名：解剖室設置空調システム設置工事

(注意事項)

1. この質疑回答書は、仕様書の追補とみなす。
2. 質疑回答書は優先順位第1位となるため、質疑の有無にかかわらず、必ず受けとること。

更新日：2022年11月18日

番号	区分	質 疑	回 答
7	仕様書	ドラフト上部活性炭ユニットへ飼育ラック排気ダクトを差し込むことは、ドラフトの構造上出来かねます。合流場所をドラフト上部のダンパー以降にすることは可能でしょうか。	飼育ラックには活性炭ユニットが無いため、ダクトへ合流後、活性炭ユニットを設けて、動物臭気の除去に対応できるようにすることが必要です。発注後ドラフトチャンバーメーカーと調整を行って頂ければと思います。



内部仕上げ表

室名	床	壁	天井	高さ (CH)
マウス処置室	既設0A707、Pタイルの上に耐薬液ビシート貼 裏り：耐薬スノーシートK、ソフト巾木：TH60H	既設壁：不燃t'ニクロム貼 (RE53775) 新設壁：LGS65+PBt=12.5×2+不燃t'ニクロム貼 (RE53775)	既設天井ボード撤去の上 LGS+PBt=12.5+不燃t'ニクロム貼 (RE53775)	既設天井合わせ CH=2700
前室	既設のまま	既設のまま 新設壁：LGS65+PBt=12.5×2+EP塗装	既設天井ボード撤去の上 LGS+PBt=12.5+不燃t'ニクロム貼 (RE53775)	既設天井合わせ CH=2700

照明器具

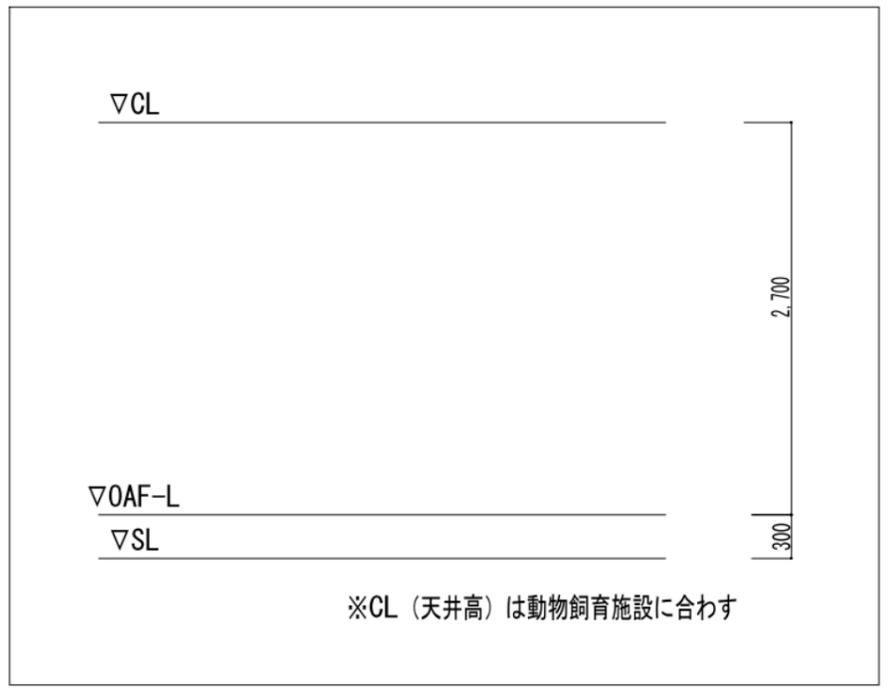
室名	照明器具	数量
マウス処置室	直付形LED照明 MY-V470332/N AHTN	16
前室	直付形LED照明 MY-V470332/N AHTN	2

給排水リスト

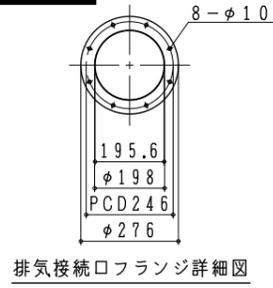
001	ドラフトチャンバー	給水：20A 6'×6' 13A 排水：50A
002	流し台	給水：20A 6'×6' 13A 排水：50A 電気温水器：100V ESD12BRX111D0

凡例

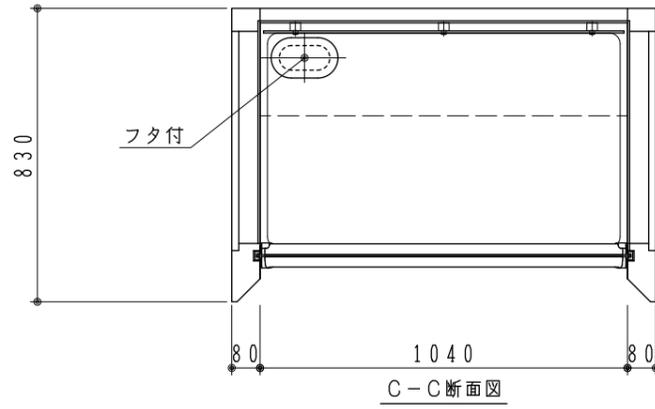
	照明器具
	コンセント
	G回路コンセント
	床コンセント
	LAN
	スピーカー
	煙感知器
	スイッチ、アッテネーター
	非常灯



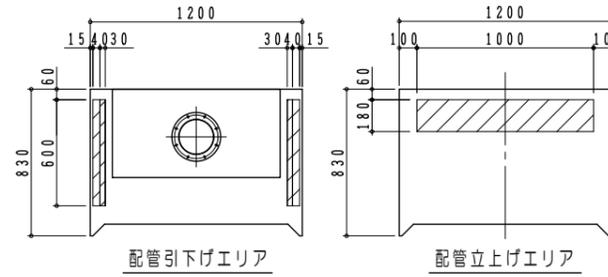
001



排気接続口フランジ詳細図

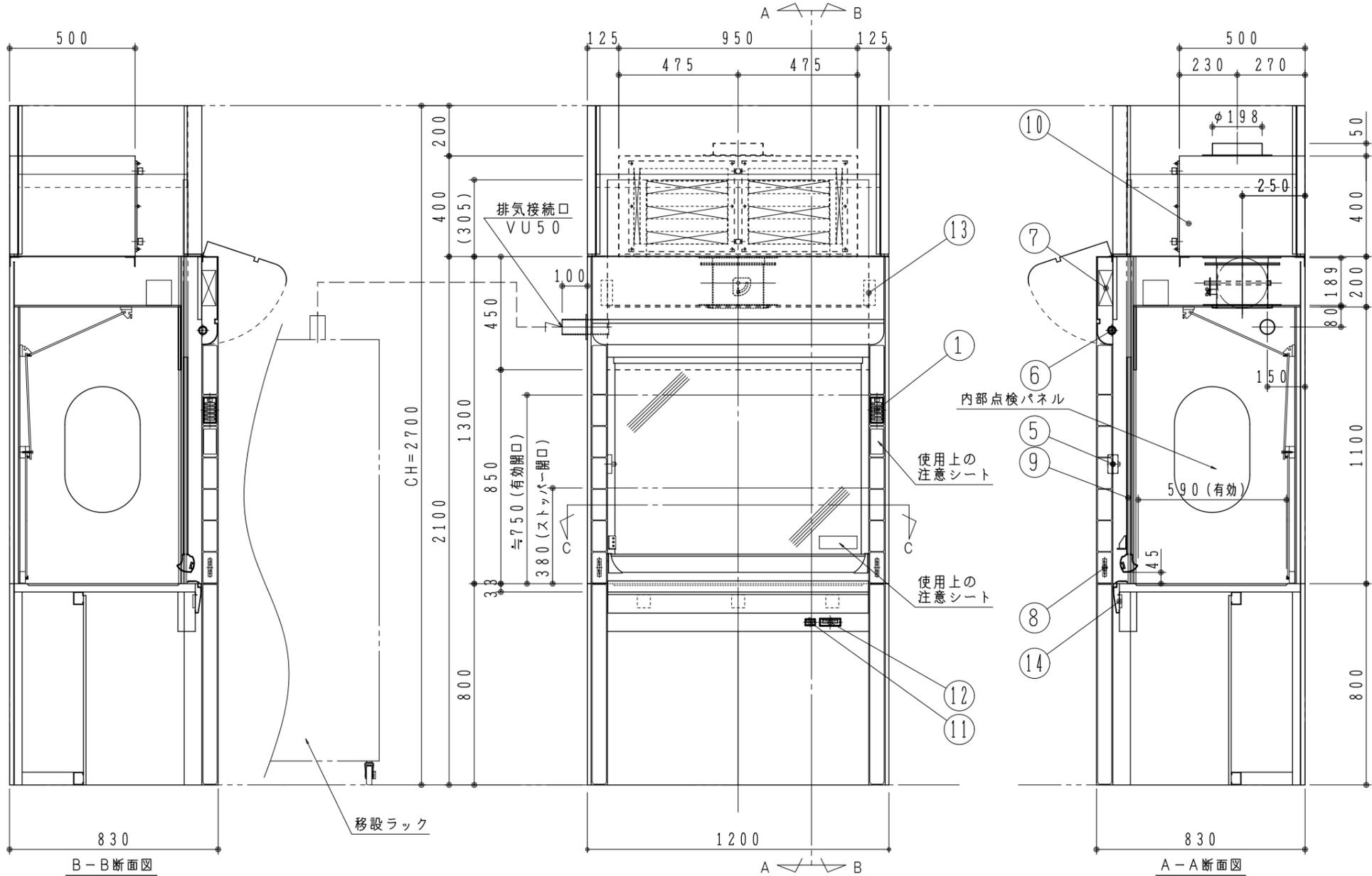


C-C断面図



配管引下げエリア

配管上げエリア

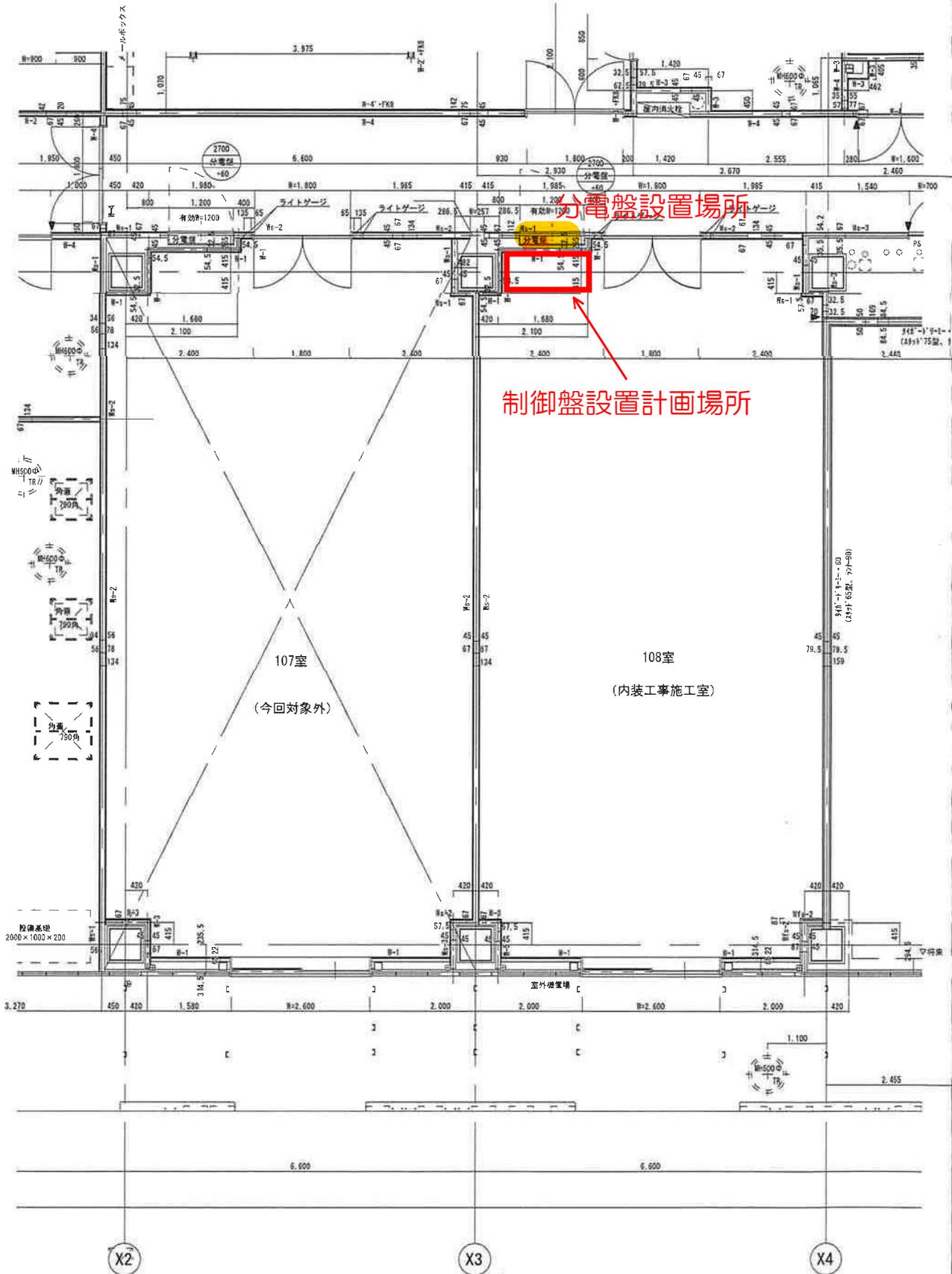


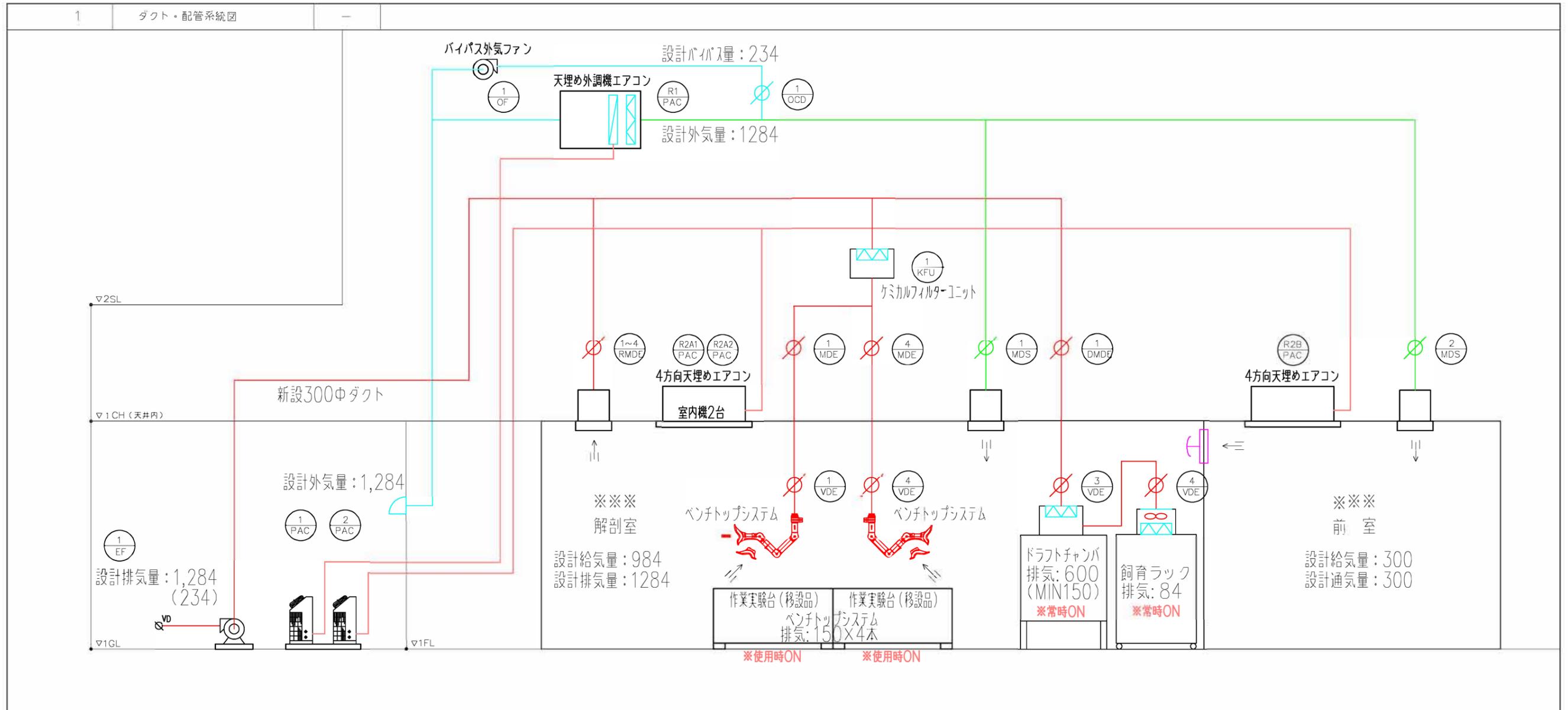
仕様		
面速	380mm 開時	0.3m/s (サッシストップ位置)
排気	風量	572CMH + 84CMH
外装 (上台・下台)	電気亜鉛めっき鋼板	
内装・バツフル板	不燃材	
サッシ	強化ガラス t=5 (バランスウェイト方式)	
取手	アルミ製、耐薬性焼付塗装	
作業面	レプシン (エポキシ成形品 33mm t)	
エアホイル	アルミ製、耐薬性焼付塗装	
本体・塗装	耐薬性焼付塗装 本体: TM色 (ホワイト) エアホイル・アクセントライン: 日塗工 No. E32-60H (近似色) (グリーン) エンドキャップ: 白色	
機内静圧	300 Pa	
製作台数	1台	

付属器具			
No.	名称	数	材質
1	操作パネル	1	電源表示 排気運転 照明スイッチ 警報
5	鍵付きストッパー	1	
6	内部照明器具	1	20W相当 (LED)
7	電気接続ボックス	1	
8	コンセント	2	AC100V 15A 接地付 2連
9	落下防止ストッパー	2	内蔵型
10	スクラパー	1	
	・本体	1	電気亜鉛めっき鋼板
	・フィルターカセット	6	活性炭、320x495x50t、約24kg
	・アフターフィルター	2	不織布、495x295x20t
	・排気接続口	1	電気亜鉛めっき鋼板
11	積算タイマー	1	0.0~999999.9h
12	差圧計	1	横型 0~300Pa
13	上部ファン	2	
14	下部ファン	3	

E	電源	1φ100V (FL, CNT)
---	----	------------------

※コンセントプレート (ユーティリティープレート) は取り外し式とし、増設対応可能とする。
 ※内部点検パネルはビスによる固定は不可とする (耐久性・耐腐食性)





簡易動作説明

ドラフトチャンバー及び飼育ラックは常時稼働とし、ベンチトップシステムは使用時稼働とします。
 ドラフトチャンバー・ベンチトップシステム稼働時は天井埋込外調機エアコンは稼働とします。
 ドラフトチャンバー稼働時は1F屋外排気ファン（EF1）が稼働します。
 ナイトモード時は外調機を停止しバイパス外気ファン（OF1）及び排気ファン（EF1）が稼働します。
 この時、ドラフトチャンバーは最低開度設定とし、排気ダンパ（DMDE1）を最低排気開度に変更して、排気風量をナイトモード風量に変更します。
 ベンチトップシステムの停止時はダンパ（MDE1～4）を閉鎖し、天井還気ダンパ（EMDE1～4）を開放する事で、室内換気風量を均一に制御します。
 室内の個別温度設定は4方向天埋めエアコンで管理を行います。（一般リモコン設定の為、温度設定は1度単位・コントロール幅は上下2度差で動作開始します。）
 外調機は一般型パッケージエアコンの為、冬季のデフロスト運転時や外気。内機の偏差運転により圧縮機の自動停止操作を行う場合があります。
 この時、室内供給の外気処理は停止しますので、一時的に高温多湿・低温低湿の環境になる可能性があります。（成行き環境になります。）
 ベンチトップシステムの排気処理はケミカルフィルタ処理を行いますが、排気空気のモニタリングは含まれません。

時稼働とすること。

- ・解剖室、前室エアコンは個別のリモコンで入切可能とすること。
- ・ドラフトチャンバー・ベンチトップタイプ稼働時、天井埋込外調機エアコンは稼働とすること。
- ・ドラフトチャンバー稼働時は1F屋外排気ファンが稼働すること。
- ・ナイトモード時は外調機を停止し、バイパス外気ファン及び排気ファンが稼働すること。その際、ドラフトチャンバーは最低開度とし、排気ダンパも最低開度に変更して排気風量をナイトモード風量に変更すること。
- ・作業台停止時は排気ダンパを閉鎖し、天井還気ダンパを開放することで、室内換気風量を均一に制御すること。
- ・室内の個別温度設定は4方向天井埋込エアコンで管理すること。

(補)実験室で使用する有機溶剤は、原則ホルマリン、パラホルムアルデヒド、ピクリン酸(2,4,6-トリニトロフェノール)とし、使用量は年間ホルマリン18L、パラホルムアルデヒド500g、ピクリン酸250g程度とする。

③ 排風機(1F屋外)

- ・排風機:設計排気量(1,284CMH)×1台 設置すること。
- ・活性炭フィルター等の吸着フィルターをどこに設けるか工事着手前に関係者と事前協議すること。
- ・排気物質の種類、搬送速度、騒音、振動、ダクト経路(長さ、曲がり)、材質などを考慮し排風機とダクトを選定すること。

④ ダクト

- ・新設300φ×1本を新たに設けること。
- ・排気物質の種類、搬送速度、騒音、振動、ダクト経路(長さ、曲がり)、材質などを考慮し排風機とダクトを選定すること。

⑤ 屋外機(1F屋外)

- ・1FGLに屋外機を2台設置すること。
- ・4方向天埋めエアコン・3台を、1台の屋外機で制御すること。
(ビルマルチエアコン)
- ・天埋め外調機エアコン・1台を、1台の屋外機で制御すること。
(パッケージエアコン/ビルマルチ室内エアコンとは分離設置とする。)

⑥ バイパス外気ファン

- ・天井内に外気導入ファンを1台設置すること。
- ・ドラフトチャンバーのナイトモード運転時(最低風量運転時)に運転開始制御